



サンタプロジェクト It's Nakama

児童養護施設で暮らす子どもたちにクリスマスプレゼントなどを贈ったり、施設を退所した子どもたちの相談に乗ったり、さまざまな支援をし、コープやまぐち第15回女性いきいき大賞優秀賞・山口新聞社賞を受賞したサンタプロジェクトIt's Nakamaを紹介します。

施設の子どもたちにもサンタを

募金でラッピングを

「幼少期は少し寂しい思いをしたことがあります。でも、祖父母がいましたし、独りである店街の方が声をかけてくれ、お茶やお菓子をいただくこともありました。そのおかげでぶれずに成長することができました」代表の東條麻希さんは、こう振り返ります。

「私が人に助けられて大人になったので、子どもにできることを何かしたいと思えました。ラッピング・ギフトコンサルタントをしているので、その技術を生かすことを考え



▲「最近、ネットで買った物を持って来られる方が多くなりました」と東條さん(写真左)

ました。500円以上募金をしてくださった方が持ってこられた贈り物を、ラッピングサービスします。その浄財で、施設の子どもたちへプレゼントをしています。2009年に始めたときは、募金もほとんど集まらず、プレゼントは、家計から出したこともあり「活動の輪が広がって」

今では、クリスマスチャリティーで100〜150個のラッピングをするまでに活動が広がっています。「手作りマーケットを出店し、売り上げの一部を寄付してくださる方、片付けを手伝ってくださる方、募金をしてくださる方、たくさんの方が参加してくださいます。いつもご協力に感謝し、感謝しています」と東條さん。東條さんと一緒に活動をしているメンバーに、お話を伺いました。「施設の子どもたちは、明るくて人懐っこく、癒されます。間接的にも子どもたちの助けになるとうれしいです」

集まった浄財は、プレゼント





まちかどボイス

今月のテーマ
今年の思い出



▲クリスマスの時以外にも、店頭で募金箱を置いて協力してくれる店舗が、現在、市内に50カ所以上あります。お客さんが投函したレシート金額の1%を寄付してくれるスーパーも。



▲子どもたちは、プレゼントを楽しみに待っています。クリスマス以外にも施設を訪れ、子どもとコミュニケーションを取っています。

ト代や施設への寄付金、子どもたちの体験費用に充てています。

「今年は初めて、長門市の施設の子どもたちを海響館に招待しました。初めてイルカを見る子もいて、とても喜んでくれました。いろいろな方のおかげで、このような活動ができます」と東條さんはうれしそうに話します。

この他にも、梨狩り、パーベキュー、美容師に施設の子どもたちの髪を切ってもらう活動や、一般の方が気軽に里親のことを相談できるようにカフェ説明会もしています。施設の子どもや、退所した子どもから、相談を受けること

編集後記

■能を見たことがない私が能楽師の宮本さんを取材させていただき、恐縮でした。能は奥深そうです。まずは亀山能を見たいです。廣野

■下関この一年。「あったねえ」と感じていただけていたらうれしいです。みなさんの「この一年」は、いかがでしたでしょうか？宮村

■コロナ感染症対策のうえに成り立つ下関海響マラソン2021。多くの関係者の「願いと奮励」が一眼レフカメラ越しに伝わりました。西村

もあります。

「たくさんの方が協力してくださっているおかげで続けることができます。これからも優しさを結んでいき、笑顔の連鎖が広がっていくことを願いながらサンタさんを続けます」と東條さん。

1人から始まったサンタプロジェクトの輪は、どんどん広がっていています。

◆サンタプロジェクトのクリスマスチャリティ◆

日時 12月4・5・11・12日
午前11時～午後4時

場所 シーモール2階

詳細 ☎235-0460
(東條さん)